

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

質 問	部長の回答	対応状況
<p>【バスク化構想】</p> <p>どういう経緯で始まったのか。採算性はどのように見込んでいるのか。構想の最終目的は何なのか。赤水区には「ブリ御殿」があり、そこで食事をさせる取り組みを行っている。当局はこのことを把握しているのか。</p>	<p>(商工観光部参事)</p> <p>バスク化構想の切り口は「食」。延岡には美味しい食材があり、腕のいい料理人もいるが、それぞれが点在している状態。これらを繋いで組織化し「食」という切り口で地方創生の交付金を受けて活動するもの。より広域的に県境を挟んだ佐伯市と手を結んで事業を展開している。赤水の「ブリ御殿」で、えんぱくのメニューの一つとして1日数食限定で食事を提供していることも知っている。市としても、南部地域を一つの面として捉え、地域全体を盛り上げる必要がある。</p>	<p>平成31年度予算において、延岡市南部地域等観光資源調査事業を行うこととしており、今後市の南部地域についても「食」を含め、積極的に誘客を図ってまいります。</p> <p>【観光戦略課】</p> <p>○「延岡市南部地域等観光資源調査事業」【新規】</p> <p>(H31年度予算：491千円)</p>
<p>【上伊形の産業道路の拡張・拡幅工事】</p> <p>上伊形の産業道路の拡張・拡幅工事が行われており、スピードを出す工事車両が頻繁に通る。そんな中、児童・生徒は白線もない道路を歩いている。個人が業者に申し入れても聞き入れられない。工事発注元の行政が業者に指導してくれないと、いつ事故が起きてもおかしくない状況である。対応をお願いしたい。</p>	<p>(都市建設部長)</p> <p>工事車両には、地元車を優先すること・歩行者に注意すること等を指導しているが、なかなか改善されていない。以前は会社毎に異なる色つきの旗を着けさせ、スピードを出しすぎている車両の旗の色を行政に報告してもらうような取り組みをしたこともある。現在の工事発注元(担当課)に現状は伝えさせていただく。</p>	<p>ご指摘の道路は県管理の広域農道であるため、市としましては早速工事を所管する県東臼杵農林振興局に対し、今回のご意見の内容を伝えるとともに、業者への指導を徹底していただくよう申し入れを行いました。今後も状況を注視してまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

<p>【一ヶ岡の太陽クリニックの前～霧島台～土々呂につながる道路】 大型車両は通行禁止となっているのに、土々呂方面の県道から大型車両が度々侵入してきている。</p>	<p>(ご意見として伺う。)</p>	<p>必要な対応について警察とも協議してまいります。</p>
<p>【草刈助成金】 県は平米あたりの単価を掛けて算出するが、市はメートル幅に単価を掛ける算出方法を採用している。これだと奥行きが広い場所の場合は、作業量にそぐわない。昨年、係数をかける等の柔軟な対応も考え方としてはあるので、制度の改善に手を付けたいと回答してくれた。現状はどのようなになったか。 地区からすると、1mだけ刈っても意味がない。地区の美化のためにも、草が生えていれば刈るわけで、1m分だけ助成してもらっても困る。</p>	<p>(都市建設部長) 貝の畑土々呂通線で草が生えている幅が20mほどあるところのことだと思う。道路管理者(今回は市道なので市土木課)としては、道路に草が覆いかぶさってきては困るので、それを防ぐために最低限必要な1mの幅で草刈に対し協働・共汗事業で助成し、それ以上の部分は別の制度を利用して下さいというスタンスである。 助成のあり方については、引き続き検討する。</p>	<p>市道草刈奨励制度は、道路の見通しが悪くなるなど通行に支障が生じる範囲の草刈りをお願いすることとしているため、道路から1mの範囲となっておりますことご理解をお願いします。 今後の制度の在り方につきましては、令和元年度に草刈奨励事業を行っていただいた団体に対してアンケート調査を行うこととしており、アンケート結果を参考に検討してまいります。なお、県も道路の草刈りについてもメートルあたりの単価となっております。</p>
<p>【地区への報告】 新しい消防署分署の屋上に取り付ける拡声器を4方向に設置してほしい。</p>	<p>(消防長) 効果的に声を届けられるのはどこかを危機管理室がエリアごとに調査している。その結果を踏まえ、南分署の屋上が最適であれば取り付けることになる。</p>	<p>新しい消防署分署の屋上に拡声子局を設置することも検討しましたが、政府の地震調査研究推進本部が南海トラフ巨大地震の30年以内に発生確率を70%から80%、想定される地震の規模はM8～9クラスと発表するなど、いつ災害が起こるかわからないということを念頭に置き、少して</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

		<p>も早い時期の設置をするために、庁舎建設時ではなく、平成31年1月に新しい消防署分署に隣接する公園に、4方向の拡声器を備えた拡声子局を設置したところです。なお、今後訓練などを行いながら、新たな対応が必要な場合は、その都度対応を検討してまいります。</p>
<p>【交通の便・土々呂地区の活性化】 8年前まで一ヶ岡に住んでいた。その頃に比べてバスの本数も減っているし、タクシーもなかなか来ない。交通の便が悪いと感じる。中心市街地活性化だけでなく。南側の活性化についてもきちんと取り組んでほしい。</p>	<p>(商工観光部参事) 賑わいの復活については、市も一緒になって考えていきたい。是非そういう議論の場を作ってほしい。</p>	<p>平成31年度に延岡市南部地域等観光資源調査事業に取り組むこととしており、その中で南部地域の活性化について検討してまいります。</p> <p>【交通政策課】 ○「地域住民連携型有償運送構築事業」【新規】 (H31年度予算：14,018円)</p>
<p>【エンクロスについて】 エンクロスは駅周辺を活性化するためにできたはずなのに、地元の店が閉店している。いったいどうなっているのか。エンクロスの中で子どもたちが暑い中勉強できたり、本を読めたりすることは素晴らしいが、それが建設費と毎年の指定管理料に見合っているのか考えてほしい。</p>	<p>(商工観光部参事) エンクロスはできたが、周辺がさびれていったら元も子もないというのはおっしゃる通り。そのために「株式会社まちづくり延岡」を設立し、駅周辺エリアをどのように活性化するか経済団体等も含めた形で検討している。駅だけ賑わうのではなく、その賑わいが周辺エリアにも及ぶよう取り組んでいきたい。</p>	<p>エンクロスの効果は周辺商店街まで及んでいない現状であることから、今後(株)まちづくり延岡が整備する西口再開発ビルにIT企業、専門学校、商工会議所、金融機関、医療機関、病児・病後児保育等の誘致に努めるとともに、意欲ある新規出店者を支援するチャレンジショップ事業を新たに行う考えであります。</p> <p>また、エンクロスの指定管理業務について、一つ一つ、業務内容やその実施方法等について検証を行い、最小の経費で最大の効果を上げるために見直すべき点は何かなどについて指定管理者と引き続き協議を行ってまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

<p>【消防署土々呂出張所移転時期について】</p> <p>消防署土々呂出張所の移転時期はいつごろになるのか。</p>	<p>(消防長)</p> <p>消防署南分署(石田町に整備予定)の建設が前提となる。現状は南分署建設の入札を終え、9月議会で議決を待っている。2019年9月に供用を開始したいと考えている。その後土々呂出張所の隣の市役所伊形支所を取り壊し、跡地に避難タワーを整備予定である。</p>	<p>左記のとおりです。</p> <p>【消防本部総務課】</p> <p>○「(仮称)消防署南分署建設事業」【拡充・増額】</p> <p>(H31年度予算：232,831円)</p>
<p>【空き家について】</p> <p>どこの区も同じだと思うが、空き家が増えている。6月に新たな法律ができるかと説明を受けたが、どのような内容なのか教えてほしい。</p>	<p>(都市建設部長)</p> <p>平成27年に法が施行され、延岡市でも平成29年4月に空家等の適切な管理、活用等に関する条例を施行した。現在、法に基づき空家対策計画の策定作業を進めている。先日この計画策定に向け、市民の皆さまのご意見を伺うパブリックコメントを実施した。対策計画は、危険な空家の指定基準及び空家対策の具体的施策を定めるもの。順次、職員が調査に回ると思うので、その際にご協力賜ようお願いしたい。順次、職員が調査に回ると思うので、その際にご協力賜ようお願いしたい。</p>	<p>平成30年8月末に延岡市空家対策計画を策定し、公表しました。</p> <p>これに基づき、危険な空家(「特定空家等」といいます。)の調査及びその指定を行っています。</p> <p>平成30年度において、21軒の特定空家等の指定を行い、法に基づき書面での指導及び助言を行ったところ。うち2軒が所有者等により除却されました。</p> <p>引続き空家等の現地調査を行ったうえで、所有者等に対しては適正管理のお願いや住み替え住宅バンクへの登録を呼びかけているほか、特定空家等については、法に基づき指導しているところです。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

<p>【道路補修について】</p> <p>土々呂地区は、道路の穴が目立つ。伊形支所から郵便局までは特にひどい。道路が悪かったら避難しようにもできない場合も出てくる。悪いところを部分的に補修していたいているようだが、抜本的な解決にならない。人どおりの多いところから計画的に工事を進めてほしい。</p>	<p>(都市建設部長)</p> <p>延岡市が管理する道は、延べ 2,000 km以上ある。市道の改修は緊急性や使用頻度等を考慮し優先順位をつけ地区が偏らないよう計画的に実施している。また、2,000 km以上の市道を管理しているので、なかなか難しい面もある。ご要望いただいた伊形支所から郵便局までの通りについては、土木課に現状を確認させる。</p>	<p>道路の改修等については平成 31 年度において予算を増額したところです。まだまだ十分な予算とは言えないと考えておりますが、今後はこれまで以上に迅速に対応するよう努めてまいります。</p> <p>【土木課】</p> <p>○「道路維持補修事業」【拡充・増額】 (H31 年度予算 215, 148 千円)</p>
<p>【法面ひび割れ(南一ヶ岡 4 丁目)】</p> <p>南一ヶ岡 4 丁目に住んでいる。この地区は延岡市が宅地造成して販売したところだが、そのとき法面にひびが入っている。法面は石とコンクリートを混ぜて固めているようだ。現状問題は起きていないが、当時は適法だったかもしれない。管財課の職員にも現状を見てもらったが、建築関係の部署の職員も含めて、総合的にアドバイスをいただけないか。</p>	<p>(都市建設部長)</p> <p>この件は、私のところにはまだ情報は伝わってきていないが、土木・建築の部署には話が来ているかもしれない。おっしゃるとおり、管財課だけでなく、建築関係の部署の職員も含めて総合的に判断したほうがいいと思う。どのようなアドバイスができるか管財課とも協議してみる。</p>	<p>問題の場所は、昭和 60 年の調査報告図面においては盛土と切土の境目には位置しておらず、クラック発生予想箇所にも含まれておりません。また昨年 4 月に本市が実施した調査結果においても、「クラックの状況として、上下のずれではなく前後のずれであることや、ブロック上部の線形に大きな変調が見られないことから、構造物の経年変化に伴い背圧土圧に耐えられなくなったと推察される。また、降雨・地震等の自然現象や背面の根に押された等様々な原因が考えられる。」となっているため、クラックの発生原因の特定は非常に困難な状況です。</p> <p>そのような状況ではありますが、現在、市の法的責任の有無について顧問弁護士への相談も含め検討しています。法的責任の有無とは関係なく、本市としては、可能な範囲で技術的な助言等きめ細やかな対応ができるよう技術部門と連携を図っていく予定です。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

<p>【北一ヶ岡市営住宅跡地について】 北一ヶ岡の浄水場の手前に市営住宅があり今は更地になっている、今後どのようになるのか。</p>	<p>(都市建設部長) 現在更地だが、新しく市営住宅を建設する。現在新しい市営住宅の建設工事の入札まで終わり、9月議会での議決を待っている。議決後に着工し、工期は2年を想定している。新しい市営住宅は避難所機能も併せ持つものになる。</p>	<p>現在、鉄筋コンクリート造5階建ての市営住宅の建設中であり、令和2年3月の完成予定です。津波避難ビル対応施設として建設中であり、南海トラフ地震等による津波発生時には、市営住宅の入居者及び近隣住民約1,200名が、屋上や廊下に、一時的に避難できる場所として整備しております。</p> <p>【建築住宅課】 ○「公営住宅等整備事業(一ヶ岡A団地)」【拡充・増額】 (H31年度予算：487,952千円)</p>
<p>【延岡南道路の料金値下げ】 延岡南インターで高速を降りた大型車が東九州平田病院の前の道路に侵入できないように規制はできないのか。</p>	<p>(都市建設部長) 規制するというのは難しいと思う。</p>	<p>市道(貝の畑土々呂通線)の交通規制については、道路法・車両制限令第1項に車両の一般的制限値(長さ12m、幅2.5m、高さ3.8m、総重量20t、軸重10t)があり、どれか1つでも超える車両は、特殊車両として「特殊車両通行許可制度」により、許可を受けた車両のみ通行可能となっています。一方、その他の車両については、道路法では制限することができません。その他の車両の規制について、延岡警察署に要望書を提出しましたが、「迂回路等もないことから、交通規制を行うことは困難である」との回答を受けました。このようなことから、現状では規制は困難ですが、今後とも、地域の交通事情の把握に努めながら、どのような対応が必要か注視してまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第2部 部長懇談)

<p>【延岡南道路の料金値下げ】</p> <p>新しい料金所を整備するようだが、併せて料金所から広域農道に直接つながる道路を整備してもらおう、農林振興局を国に申し入れできないか。高速に繋がる一ヶ岡環状線の道路の痛みが激しい。土々呂の渋滞問題もある。この件は、先日、代表者会でも発言した。総合農政課から話は聞いていると思う。都市建設部も一緒になって関係各所に要望してほしい。</p>	<p>(都市建設部長)</p> <p>広域農道の整備、県道の拡幅、新しい料金所の設置、これらすべて平成 32 年(2020 年)に行われる。同じような時期に整備されることになるので、ご要望の件も踏まえて調整することになる。</p> <p>一ヶ岡環状線の交差点は、今年度改良工事を行う。これは、大型車が交差点を曲がりやすくするためではなく、歩行者の安全をより確保するために行うもの。</p>	<p>伊形地区の広域農道建設について、事業主体である東臼杵農林振興局と石田区、上伊形区、伊形区、下伊形区の区長を中心とした方達とで話し合いがもたれています。その際には、地元区長より昨年 8 月の移動市役所でも取り上げられた内容を含む様々な要望についても協議・検討がなされています。最終的には、平成 31 年 3 月 7 日に開催した延岡地区広域農道促進協議会(地元説明会)において、高速道路に直接乗り入れできる広域農道の整備は、事業の採択基準および地形的制約から広域農道事業としてはできないが、地元要望を最大限に反映させたかたちで道路設計を見直し、大型車も円滑に通行できるよう道路幅員の確保や道路線形としたことで地元の了承を得たところです。</p> <p>ご要望の内容については、開通した広域農道を有効に生かすという意味でも、一ヶ岡地区の渋滞緩和にどのようなことができるか、改めて国県等の関係機関と協議していきたいと思えます。</p> <p>なお、この広域農道は令和 2 年度に全線開通を予定しています。全線開通すると、延岡・門川間の新たな交通ルートとなり、一ヶ岡、旭ヶ丘地区の住宅地に混入している大型車の減少、国道 10 号の渋滞緩和、更には災害時の迂回ルートとして利用されるものと期待しています。</p>
---	--	--